

神和台

平成9年12・1
第61号

バス旅行記



総員四十八名で、十月十二日、八時に出発、名神は、ガラガラで予定より、一時間も早くに、信楽に着き、窯元で信楽焼のお勉強「タヌキ」ばかりかと思つたら「タイル」が半分以上。表裏の焼色がちがうのが値うちもの。昔ながらの薪で焼上げるのは大変のようです。何人かは絵付けにも参加しました。お昼は「信楽御膳」松坂牛をカワラの上のせて焼くのも風情がありました。バーナードリッチ展では一流の陶芸品を見て



いと日頃の雑念がふきとんで気分爽快。甲賀忍者の里。子供達は楽しかったでしょう。忍者は自然食、よく動く、忍者と同じ生活をすれば現代人はすべて健康人。手り剣投げにチャレンジしたがなかなか的に当たらない。やっぱり忍者はすごいな。普段話をしたことのない人と話しができ人の輪が少しでも広がったかな？来年はもっと多くの人に参加していただければよいと思います。 納富

ふるりの秋を満喫していただけましたか？

さわやかな秋空に恵まれ、信楽焼甲賀忍術村へ出発。途中、渋滞もなく、栗東から田園風景を眺めながら山道を40分、信楽へ到着。沢山のためきの焼物が、我々を出迎えてくれました。可愛らしい目と大きなお腹、これは太っ腹を意味し、たぬきを買うポイントの一つだそうです。陶芸の村ではお湯飲みを制作された方、バーナードリッチ展を見に行かれた方、ゆっくりに焼物を物色された方、一方時間が足りなかった方もいらっしゃっ

たように思われます。何かと至らぬ点が多かったと存じますが不慣れなためお詫び申し上げます。

役員一同



秋の清掃

去る十月十九日(日)午前十時から、恒例の秋の除草が行なわれました。今年は、外周道路ふきん清掃を九月末に神戸市の方々がして下さっていたので、いつもより除草が楽でした。春、秋二回の清掃ですが、道路、側溝等がみるみ

老人会記念品

九月十五日、今年の敬老の日は初めての試みとして全員に、お祝いが、届くようにとクッキーの記念品を老人のいらっしゃる一世帯に一缶(百五十件)自治会より送らせていただきました。

いかがでしたでしょうか？

又御意見があればお聞かせ下さい。

子ども会

バレーボール部

今年度は十八人が、元気に練習しています。

十月の区子連大会では、五年生が大健闘で、六年生チーム相手に三位の好成績を収めました。また夏休みには、しあわせの村でパーベキューをするなど、バレー以外でも楽しく活動しています。



るうちにきれいになって、とても気持ちよくなり、久しぶりにご近所の方々とのお話がはずみ、快い汗もかいて、秋の一日、心がさわやかになりました。ところでみなさんごぞんじですか、老人会の方々が、月一回、公園の清掃をして下さっています。ご苦勞です。



●子供会、小学校の廃品回収の時は、必ず自分の家の前に出して下さい。他の人の家の前には、出さないで下さい。

おはちゃん。ねこちがてくたさい。身にひかれていました。けがをしてはいますか？元気です。わたしとおかあさんがアレルギ二なので、おかあさんにすてなさいと言われました。とてもかわいいねこです。かわいかったです。 6月26日

●このように、手紙を添えて、あるお宅の玄関前に猫を捨てに来る人がいます。大変迷惑をしていますので、やめて下さい。

●柚耶の里へ来られる車の件については、自治会より話し合いを進めています。皆様も、通行にはくれぐれも気をつけて下さい。

●最近、騒音の苦情が多く寄せられています。深夜の暴走、ピアノ、犬の鳴き声など、お互いにマナーを守りましょう。

●ペットボトル、空缶を月二回、第一、第四(水)に回収して居ます。御協力お願いします。

転法輪寺

ちよっと歩いてみませんか…

日々変貌する神戸の街、神和台を取り巻く地域として例外では有りません。そんな中神和台のすぐ隣に建てられている転法輪寺におじゃまし、お忙しい中御住職の奥様にお話をうかがいました。

一步参道に入るとそこは昔なつかしい郊外の景色が広がります。

こんもりと茂った森を背に、創建八〇八年に成る転法輪寺が重厚に建てられています。

御本尊は高さ二メートルもある一材彫の阿弥陀如来座像で平安時代初期の貞観時代流行した仏像、国の重要文化財に指定されて居ます。

寺記によると、延暦二十年（八〇一）の冬、時の平城天皇が病にかかられ医療をつくし神仏に祈ってもききめがなく人々は心配していたおり、ある夜紫宸殿の方からあげまきの髪をゆった少年があらわれて、天皇に「天皇さま、病気をなおすために都から二十余里（約八十キロ）播磨の国に参りその霊山のもくせい木で丈六の阿弥陀如来像を刻み垂水郷に運ぶのです。そこに釈迦転法輪の霊場があるから安置しておまつりなさい。私は春日の神の霊です」とおつげが有り翌年天皇は在原行平に

命じてもくせい木をさがさせ陀像を作らせ垂水に運ばせ開山されたのが転法輪寺です。

大同三年弘法大師を薬師として本堂落慶供養が行なわれもくせいで作られた本尊は西尊上人の手で開眼され、寺は大いに栄えました。

転法輪寺は昔からこの名谷町に有ったのではなく東垂水のジェームス山一帯の高台に古代寺院として創建されていたものであろうと思います。現在でも「千坊ヶ谷」（千も寺坊があった）という地名も残っており古代寺院瓦も出土しているが天長の十二月に大きな火災が有り多くの建物は焼け落ち、現在の名谷町に立派に寺は再建されたと伝えられています。



御本尊は一年に二回、一月七日お彼岸の中日に公開されます。町の一角になつかしい郊外の風景が生き続けている。一度、足を運ばれてはいかがですか。

お願い

転法輪寺にお伺いした折住職の奥様より五・六年前に神和台に住む女の子（中学か高校生）に夏休みの宿題に必要と「夕袋史」クリム色の本をお貸ししましたが未だに帰って来ていません。お寺にとつては大切な資料ですのでこまっています、とお話がありました。お心当りの方は、お寺又は神和台の役員まで（ポストの中にもけっこうです）お返し下さい。

御出産

- 山崎 勝道 九年七月十七日生
三丁目七七一六 長女 真梨佳
- 長井 慎吾 九年八月十四日生
三丁目十六一六 次男 海帆
- 岡田 隆 九年六月十九日生
名谷町春日手二二七六一十六 長男 樹
- 藤本 裕之 九年八月十一日生
二丁目七一一二 長男 友輔

高山 久幸 九年九月二十七日生
三丁目十一一六 三男 剛

転入

- 高丸 聖章 九年六月一日
三丁目十四一十九
- 稲葉 佳司 九年三月二十二日
一丁目十二一十五
- 平川 和之 九年六月一日
二丁目一〇一十六
- 大石 喜良 九年六月一日
一丁目十九一十四
- 平岡 不二雄 九年七月一日
二丁目一〇一七
- 福山 光則 九年九月一日
三丁目十三一十三
- 太田 紀久男 九年九月一日
三丁目十三一十五
- 成本 皓市 九年九月一日
三丁目十三一十六
- 松倉 正和 九年九月一日
三丁目十三一十七
- 福良 淳二 九年十一月
小東山一一九二十

転出

橋本 九年九月二十八日
三丁目十一一九

計報

- 佐々木 実 九年十一月十三日
三丁目四一十七
- 伏田 徳太郎 九年五月二十八日
一丁目一〇一十一
- 宮原 マツエ 九年十月三十一日
二丁目四一十二
- 後藤 吉明 二丁目三一五



多数の方々の御協力をいただき六十一号を発行する事が出来ました。ありがとうございます。今年もあと一ヶ月余り。神和台の一大イベント秋のバス旅行も、無事終わりました。来年もよい年でありますようにお祈り致します。広報部に、御意見、御要望などお寄せ下さいますようお願い致します。 広報部一同